

会社沿革

年 月	事 柄
1988年(昭和63年)	5月 名鉄グループと全日本空輸(株)との合同出資により会社設立(資本金1億円)。
1989年(平成 元年)	10月 オランダ、フォッカー社とフォッカー50の購入契約締結。
1990年(平成 2年)	9月 資本金2億円に増資。
1991年(平成 3年)	4月 不定期航空運送事業免許取得。 名古屋～富山線、美保(米子)線の二地点間旅客輸送運航開始(名古屋～富山:平成16年10月まで運航)。 その後、二地点間旅客輸送として順次路線を拡大。
	6月 資本金3億円に増資。
1992年(平成 4年)	9月 フォッカー50の2号機導入。
1995年(平成 7年)	12月 フォッカー50の3号機導入。
1999年(平成11年)	11月 指定本邦航空運送事業者指定。
2000年(平成12年)	2月 国内定期航空運送業免許取得。
2002年(平成14年)	1月 フォッカー50の4号機導入。 4月 名古屋～成田線の運航開始(ANAとの共同運航)。ANA Connectionの開始。
2004年(平成16年)	4月 フォッカー50の整備改造及び整備検査事業所認定。 10月 本店の所在地を愛知県西春日井郡豊山町から愛知県常滑市に変更。 11月 資本構成を全日空55%、名鉄45%に変更。
2005年(平成17年)	2月 商号を中日本エアラインサービス(株)からエアーセントラル(株)に変更。名古屋空港から中部国際空港に移転。 全日空等との運送の共同引き受け開始(全便ANA便)。 ボンバルディアDHC8-Q400(Q400)型機の1号機を導入し、中部～松山線の運航開始。 12月 資本構成を全日空86.7%、名鉄13.3%に変更。
2006年(平成18年)	1月 伊丹空港に乗り入れ開始。Q400にて伊丹～新潟線、松山線の運航開始。
2007年(平成19年)	2月 航空機使用事業許可取得。
2009年(平成21年)	2月 フォッカー50型機完全退役。 資本構成を変更。全日空の100%完全子会社化。 3月 資本金を5千万円に減資。